

事務事業名		防災センター整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	03 やすらぎある安全なまちづくりの推進			事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度~)	
	施策名	07 防災対策の推進				
	基本事業名	02 地域防災体制の強化			予算科目 会計 01 款 09 項 01 目 05 事業 07	
根拠法令					<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 24 年度 ~ 27 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
所属	部課名	大船渡消防署				
	係名	庶務係	電話	27-2119		
			内線	241		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 地震・津波・風水害等の様々な災害発生時における災害対策活動の拠点としての機能を有し、平常時には地域住民や消防団等に対する防災PR、教育訓練等のコミュニティ活動の場となる施設として消防センターを整備する。 ・H24年度 用地決定 H25年度 測量、用地売買契約及び造成、実施設計 H26年度 工事着工 H27年度 完成 を目指す。					全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 1,445,000 その他 一般財源 58,295 事業費計(A) 1,503,295 人件費 正規職員従事人数 16 延べ業務時間 8,640 人件費計(B) 34,560 トータルコスト(A)+(B) 1,537,855	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 建設検討委員会を開催し、用地を決定した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 候補地の決定、用地交渉(現消防庁舎地の場合用地交渉は不要)。 消防センター基本設計、実施設計。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 防災センター建設</td> <td>棟</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 防災センター建設	棟	イ		ウ	
名称	単位								
ア 防災センター建設	棟								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民の生命・身体・財産	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 市民</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 市民	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 市民	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民の生命・身体・財産を災害から守る	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 事業進捗率 (具体的指標がないので進捗率に替える)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 事業進捗率 (具体的指標がないので進捗率に替える)	%	シ		ス	
名称	単位								
サ 事業進捗率 (具体的指標がないので進捗率に替える)	%								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・災害時の指揮所、物資援助の場となり、市民の安全及び生活の確保に貢献する。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">投入量</th> <th rowspan="2">事業内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>352,600</td> <td>546,200</td> <td>546,200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td>75</td> <td>620</td> <td>28,800</td> <td>28,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>75</td> <td>353,220</td> <td>575,000</td> <td>575,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>8,640</td> <td>8,640</td> <td>8,640</td> <td>8,640</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>8,715</td> <td>361,860</td> <td>583,640</td> <td>583,640</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>棟</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>39,117</td> <td>39,117</td> <td>39,117</td> <td>39,117</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		投入量	事業内訳	単位	年度						23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	事業費	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円							地方債	千円			352,600	546,200	546,200		その他	千円							一般財源	千円		75	620	28,800	28,800		事業費計(A)	千円	0	75	353,220	575,000	575,000	0	人件費	正規職員従事人数	人		4	4	4	4		延べ業務時間	時間		2,160	2,160	2,160	2,160		人件費計(B)	千円	0	8,640	8,640	8,640	8,640	0	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	8,715	361,860	583,640	583,640	0	⑤活動指標	ア	棟	-	1	1	1	1	-	イ		-					-	ウ		-					-	⑥対象指標	カ	人	-	39,117	39,117	39,117	39,117	-	キ		-					-	ク		-					-	⑦成果指標	サ	%	-	10	50	75	100	-	シ		-					-	ス		-					-			-					-
投入量	事業内訳				単位	年度																																																																																																																																																																															
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)		26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																													
事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																																			
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																																			
	地方債	千円			352,600	546,200	546,200																																																																																																																																																																														
	その他	千円																																																																																																																																																																																			
	一般財源	千円		75	620	28,800	28,800																																																																																																																																																																														
	事業費計(A)	千円	0	75	353,220	575,000	575,000	0																																																																																																																																																																													
人件費	正規職員従事人数	人		4	4	4	4																																																																																																																																																																														
	延べ業務時間	時間		2,160	2,160	2,160	2,160																																																																																																																																																																														
	人件費計(B)	千円	0	8,640	8,640	8,640	8,640	0																																																																																																																																																																													
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	8,715	361,860	583,640	583,640	0																																																																																																																																																																													
⑤活動指標	ア	棟	-	1	1	1	1	-																																																																																																																																																																													
	イ		-					-																																																																																																																																																																													
	ウ		-					-																																																																																																																																																																													
⑥対象指標	カ	人	-	39,117	39,117	39,117	39,117	-																																																																																																																																																																													
	キ		-					-																																																																																																																																																																													
	ク		-					-																																																																																																																																																																													
⑦成果指標	サ	%	-	10	50	75	100	-																																																																																																																																																																													
	シ		-					-																																																																																																																																																																													
	ス		-					-																																																																																																																																																																													
			-					-																																																																																																																																																																													

事務事業ID	1389	事務事業名	防災センター整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 当初、H21年から3年計画で、防災センター建設の計画としていたが、震災により建設が停止された。また、震災において全国からの応援部隊が集結したが駐車スペースも限られ活動に大きく支障を来したことを鑑み、現庁舎敷地に建設することは防災センターの機能を十分に生かせない等諸事情を考え、現消防庁舎とは別の用地をH24年度は選定した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 財源として前計画においては合併特例債を用い建設予定であったが、震災後の復興交付金効果促進事業を用いることが可能か検討をしたが、結果、H25年度は緊急防災・減災事業債を、その後の工事費については合併特例債を財源して見込んでいる。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成24年2月17日、大船渡市防災センター(仮称)前建設検討委員会委員による検討会を開催する。その中で「現庁舎敷地の狭さ」「海が見えない」等々の意見が出され、「広い土地を確保し、高台に移転することが望ましい」等の建設地見直しの意見が多く出され、リアスホール西側に用地が決定する。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 災害に強いまちづくり目指すうえで、市民の安全確保が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ あらゆる情報を提供する場として有効活用する。 職員にあっては災害に対応するため、日頃の訓練や新たな知識・技術習得に励み、市民の安全を図るために必要な事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 大震災を経験した今、市民が災害に対してあらゆる情報を求めている時であり、防災担当としてそれに応えていくことは責務である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 市民に対して、最新システムによる情報の提供の場となりえる。多数の傷病者に対してのトリアージの場として活用出来る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 火災・地震・津波等大規模災害時に被害の増加をもたらす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 当市には防災センターが無く、消防庁舎も老朽化しているため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 災害に強いまちづくりに反する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 今後長期的に有効な防災センターとして活用するにあたり、建設的な意見が求められるため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 市民の安全確保であるため。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>震災により、23年度着工は見送りとなったが、防災体制の強化、及び安心・安全な町をつくるため早急な整備が必要であり、継続して実施する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	大船渡消防署長	
-------	---------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている </p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている) </p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>近い将来に発生するであろうと指摘されている宮城県沖地震への備えや、都市構造の変化・災害態様の変化などに対処し、また全国的に進められている危機管理体制の強化などを踏まえ、防災センターを整備することは防災体制の強化を図り、安心・安全な町づくりに必要な事業である。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>震災により、23年度着工は見送られたが、防災体制の強化を図り、安心・安全な町をつくるためには不可欠な事業であり、引き続き事業を継続する必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
